

京都府教育委員会教育長 様

コミュニティ名 チーム 遠隔教育
 代表者所属名 京都府立宮津高等学校
 京都府立宮津天橋高等学校宮津学舎
 代表者職・氏名 教諭 安見 孝政 ㊞

京都府若手教員学び合いのコミュニティ育成支援事業報告書

次のとおり報告します。

1 コミュニティ名	チーム 遠隔教育
2 研究テーマ	学舎制（丹後通学圏府立高等学校）における遠隔教育システムを活用した合同授業の試行
3 研究の目的	令和2年度から、京都府北部地域において、地域の高等学校を存続し、特色ある教育活動を展開することを目指した学舎制が始まった。宮津天橋高校では、令和3年度から宮津学舎と加悦谷学舎の2学舎間において、単位認定を伴う遠隔合同授業を特定科目で実施する。宮津高校と加悦谷高校間での試行を通して、遠隔教育システムを活用した合同授業を推進するための諸条件を整理し、最適な条件や推進上の課題を明らかにするとともに、人材育成を図る。さらに、研究の成果を丹後緑風高校とも共有する。
4 研究の成果と課題	<p>① 遠隔合同授業の試行（研修会）の実施に向けた準備を通して、参加された先生方が遠隔教育システムの機器操作に習熟するとともに、遠隔合同授業に求められる授業スキル（生徒同士の交流を取り入れた授業計画・音声面での注意・授業の進め方等）を身につけることができた。</p> <p>② 得られた成果・知見を発表等することで、メンバーの見識がさらに高まった。また、教員研修会の様子が新聞報道された。【5研究成果の波及方法 参照】</p> <p><課題></p> <p>遠隔合同授業を担当できる教員が一部に限られており、各学舎はもとより、府全体で遠隔合同授業を担当できる教員の育成が求められる。今年度はコロナ禍のため、先進的に遠隔合同授業を実施している他府県高校視察等が不可能またはWeb視聴に限られ、研究推進が制約された。</p>

5 研究成果 の波及方法	<p>学舎制が導入された高等学校は、宮津天橋高等学校の他に丹後緑風高等学校がある。コミュニティ内のみならず、丹後緑風高校の遠隔授業担当教員とも情報交換や交流を行い、ネットワークを広げることができた。得られた成果・知見を発表することに加え、教員研修会の様子が新聞報道され成果を広く公開した。</p> <p>【学会発表】「過疎地域の高等学校における遠隔合同授業推進に向けた教員研修モデルの開発」. 第46回全日本教育工学研究協議会全国大会オンライン発表および論文集. p202-203. 2020</p> <p>【雑誌掲載】「単位認定に向けた遠隔合同授業の試行ー京都府北部の高校における遠隔教育推進の取組状況についてー」. 学習情報研究 2021年1月号記事. 2021</p> <p>【新聞報道】「2学舎結び 遠隔授業・丹後の府立高 21年度から」. 読売新聞京都版(2021.1.8)</p> <p>【HP 掲載】ヤマハ社 HP (機器導入事例ページ) において遠隔合同授業 (宮津天橋高・丹後緑風高) の導入状況が掲載された。 (https://sound-solution.yamaha.com/case_study/)</p>		
6 研究(活動)実績	年月	研究(活動)内容 (具体的に記載してください。)	活動場所
	R2.5	当初会議 (今後の方向性)	Web 会議
	R2.7	遠隔教育システムを用いた交流 (習熟)	宮津天橋高 (遠隔)
	R2.8	研究打ち合わせ (試行準備) ①	宮津学舎
	R2.8	遠隔合同授業 (試行)	宮津天橋高 (遠隔)
	R2.10	遠隔合同授業参観②	丹後緑風高
	R2.10	研究打ち合わせ (研修会準備) ③	加悦谷学舎
	R2.11	スマートスクール公開授業参観④	峰山高
	R2.11	遠隔合同授業参観⑤	丹後緑風高
	R2.11	遠隔合同授業に係る研究打ち合わせ⑥	宮津学舎
	R2.11	スマートスクール公開授業参観⑦	亀岡高
	R2.12	遠隔合同授業に係る教員研修会・遠隔模擬授業	宮津天橋高 (4学舎合同・遠隔)
	R3.1	スマートスクール公開授業参観⑧	清新高

R3.1	遠隔合同授業参観⑨	丹後緑風高
R3.2	遠隔合同授業参観	兵庫県和田山高 (Web)
R3.3	遠隔合同授業打ち合わせ	宮津天橋高 (4 学舎 合同・遠隔)
R3.3	研究打ち合わせ (まとめ) ⑩	加悦谷学舎





※ 紙面が不足する場合は、適宜行を追加し記入してください。